

## 生活の豊かさに関する意識調査

元佐賀大 出石康子 筑紫女学園短大 ○小川直樹  
 尚絅短大 谷口彩子 元中村学園大 横田春子

- (調査の目的) 今後の短期大学・大学教育における家族・生活論への対応を検討する基礎資料とすることを目的とする。
- (調査の項目) 経企庁「国民の意識とニーズ」平成5年度国民生活選好度調査を踏まえた項目とした。
- (調査対象) 短大女子422名、4年大の男子590名、女子261名、合計1273名
- (調査結果) 現在の作業上の分析から述べる。
- 短大 1)豊かさ観の重要度に対する認識は、高く持っているものの、具体的事象にあたっての評価は、不透明な部分が認められた。  
 2)豊かさのイメージとしては、「不安の少ない社会」が過半数を占め、次に「豊かな家族関係」・「友人・知人関係」が続く。  
 3)重視する豊かさ観では「精神的豊かさを重視したい」が過半数を占めた。
- 大学 1)現実の生活における満足度の中で、「経済生活」に対しては、不安であり、不満を持っている。  
 2)生活諸領域での重要度では、「働く」「育てる」などの度合いが低い。